

**平成20年度当初予算 重点的な取組別概要**  
**< 重点事業 >**

元氣5：地域の資源を活用した産業振興（主担当部：農水商工部）

**< 重点事業の目標 >**

地域経済の活性化をはかるためには、競争に打ち勝つ商品・サービスの高付加価値化・高度化のほか、それぞれの地域の人材、技術、伝統技術、特色ある農林水産品やものづくり基盤などの地域資源を活用した、多様な主体による地域の取組が必要とされてきています。

そこで、県内各地域の活力を維持発展させるため、それぞれの地域資源と地域の「知恵」・「やる気」を生かした活力ある地域産業の振興をはかります。

**< 構成事業（担当部） >**

- （1）オンリーワン企業育成プログラム事業（農水商工部）
- （2）地域産業創出活性化事業（農水商工部）
- （3）中小企業の企業力向上再チャレンジ支援事業（農水商工部）
- （4）地域特性を生かした産業誘致促進事業（農水商工部）
- （5）地域資源ブランド化支援事業（農水商工部）
- （6）地域産業振興方策実践支援事業（農水商工部）
- （7）地域資源価値創造・展開事業（政策部科学技術振興センター）
- （8）中小企業等知的財産活用支援事業（政策部科学技術振興センター）

**< 重点事業の事業費 >**

（単位：千円）

H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
( 281,116 )	( 279,000 )	277,000	272,000
278,619	451,833		

H19 年度は現計予算額、H20 年度は当初予算要求額

H19 および H20 年度の上段括弧書き、H21 年度、H22 年度は第二次戦略計画の記載額

**< 重点事業の数値目標 >**

目標項目		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
県内中小企業のうち製造業の付加価値額の伸び率	目標値	-	102 (H18)	104 (H19)	106 (H20)	108 (H21)
	実績値	100 (H17)				

民間製造業のうち中小企業（従業員4～299人）の付加価値額の基準年（平成17年度）を100とした場合の伸び率。平成22年度の目標値は、平成23年春に把握できる平成21年度の実績数値により測ることとします。

**< 構成事業の目標 >**

目標項目		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
(1)高度化計画策定企業数（累計）	目標値	-	217 社	267 社	317 社	362 社
	実績値	177 社				
(2)地域資源活用事業計画策定企業数（累計）	目標値	-	46 件	61 件	76 件	91 件
	実績値	31 件				
(3)経営革新承認企業数（累計）	目標値	-	430 社	470 社	510 社	550 社
	実績値	393 社				

(4)県南部の条件不利地域への企業立地件数 (累計)	目標値	-	2件	3件	4件	5件
	実績値	1件				
(5)地域のブランドづくりを支援する品目数 (累計)	目標値	-	5品目	10品目	15品目	20品目
	実績値	-				
(6)地域産業振興方策による取組実践数(累計)	目標値	-	2件	5件	7件	8件
	実績値	-				
(7)地域資源価値創造・展開のための技術開発件数(累計)	目標値	-	4件	9件	17件	29件
	実績値	-				
(8)知的財産のマッチング件数(技術移転件数) (累計)	目標値	-	19件	31件	45件	60件
	実績値	9件				

<進捗状況(現状と課題)>

- ・技術開発等に意欲的に取り組む中小企業に対して新商品や新技術開発への助成や産学連携を進め、35社が高度化計画を策定して技術力向上の取組を進めています。
- ・伝統工芸品産業、地場産業をはじめ、地域の資源を活用した新たな事業活動の取組を支援し、21社が事業計画を策定して取組を進めています。
- ・企業進出上の不利な条件を抱えると考えられる県南部地域については、当該地域の資源を活用した企業の誘致を進めることにより、地域産業の活性化、雇用の場の確保をはかっています。
- ・地域資源を活用しブランド化に成功した品目と事業者を適正に評価し、9品目で39事業者の取組をモデルとして積極的に情報発信を行っています。また、地域資源を活用し商品化する上でのノウハウ・スキルを向上する人材育成プログラムを20者(社)の参加のもとで進めており、さらに、ブランド化の素材となる生物系知的財産の発掘では36件の申請があり調査・評価を進めています。
- ・地域経済の活性化をはかるためには、競争力のある独自の製品や技術をもつ中小企業を育成していくことや、地域の特性に応じて、農林水産物などの地域資源を活用した地域の内発的な取組を創出していくことが必要です。

<平成20年度の取組方向>

ものづくり中小企業の高度化・高付加価値化を促進するとともに、地域の「人、技、伝統」などの地域資源を活用した新商品開発・販路開拓等の支援や、中小企業の企業力向上に向けた総合的な支援を行います。

地域の特性を生かした産業の誘致活動、農林水産に関する地域資源の発掘・再評価や人材育成を含めたブランド化をすすめます。

地域の新商品づくりなどに直結する研究を行うとともに、県内中小企業の知識集約化を促進します。

<主な予算要求事業>

オンリーワン企業育成プログラム事業【20年度予算額 75,651千円】(事業(1)の一部)

企業の退職人材を活用して企業訪問を行い、企業の課題やニーズの把握を行うとともに、課題等解決のための人材を派遣します。また、技術の高度化、高付加価値化をめざす企業が行う新商品、新技術の研究開発を支援します。

地域産業活性化支援事業【20年度予算額 24,721千円】(事業(2)の一部)

地域産業の活性化をはかるため、「産地の技術」「農林水産品」「観光資源」などの地域資源を活用した新商品開発、販路開拓、人材育成等の取組を支援します。

中小企業の企業力向上再チャレンジ支援事業【20年度予算額 14,684千円】(事業(3)の一部)

中小企業の企業力向上を促進するため、経営革新に取り組む意欲ある企業や、社会環境の変化など厳しい事業環境のもと十分な成果の得られていない企業の再チャレンジを、事業戦略の構築から課題解決、情報化など、総合的に支援します。

県南部への産業誘致対策事業【20年度予算額 179,033千円】(事業(4))

県南部地域の企業進出上の不利な条件を抱えると考えられる地域に対し、競争力のある産業用地を企業に提供できるよう、関係市町が行う産業用地整備事業を支援するとともに、その地域の特性を生かした産業の誘致活動を展開することで、地域産業を活性化し、雇用の場の確保をはかります。

地域資源ブランド化支援事業【20年度予算額 70,136千円】(事業(5))

ブランド化に成功した県産品および事業者を適正に評価し、「三重ブランド」として認定するとともに県内外に情報発信します。また、地域資源を活用し、高付加価値化を戦略的に展開する人材育成とネットワーク形成を支援するとともに、地域資源を発掘・再評価してビジネスとしての活用を促進します。

地域産業振興方策実践支援事業【20年度予算額 4,650千円】(事業(6))

地域住民、市町、産業に携わる人びと、関係団体等、地域の関係者が主体的に行う地域における産業振興方策の実践を支援します。

中小企業等知的財産活用支援事業【20年度予算額 4,465千円】(事業(8))

県内の中小企業等が、特許等の知的財産を活用し、新規事業の創出や技術の高度化を進めていくため、知的財産に関するマッチング支援や活用支援、相談窓口の充実などを行い、県内中小企業の知識集約化を促進し、地域産業の振興をはかります。

